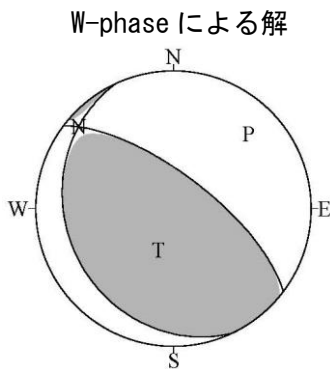


12月19日 中国、チンハイ省の地震 (W-phase を用いた発震機構解析)

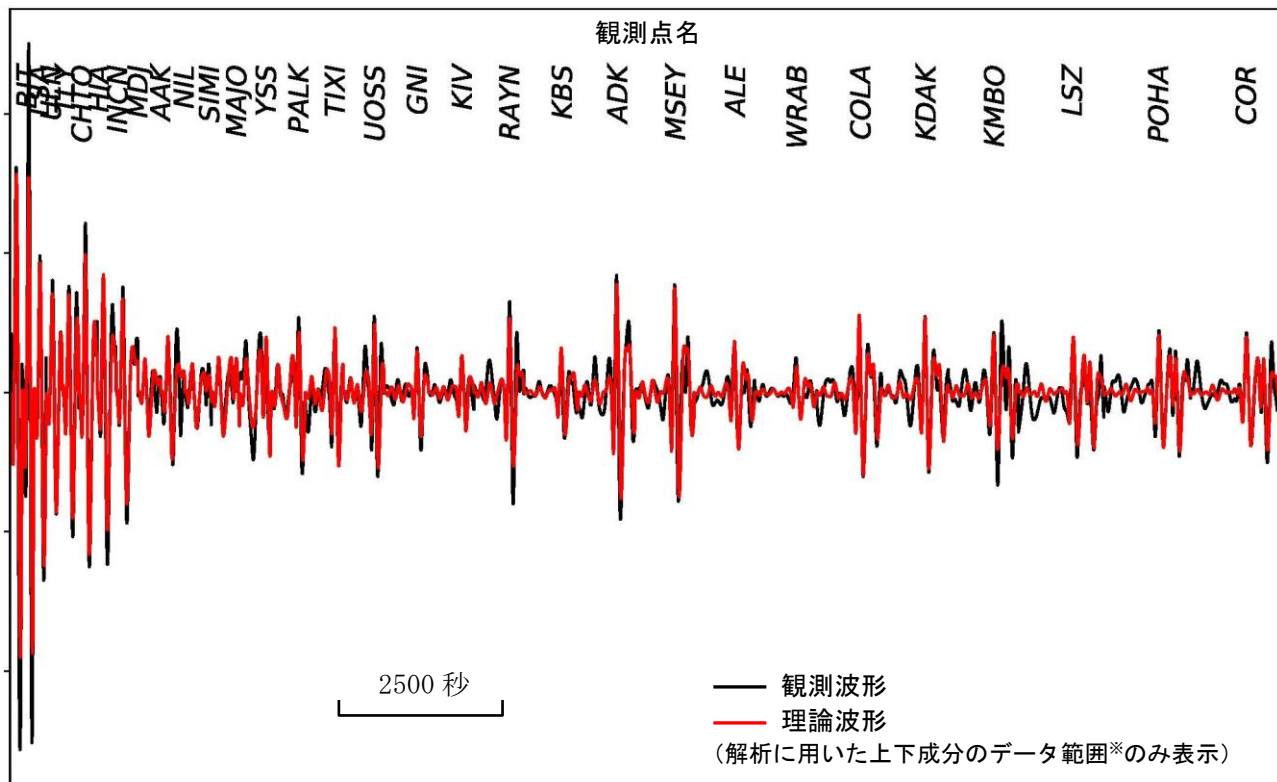


2023年12月19日00時59分（日本時間）に中国、チンハイ省で発生した地震について W-phase を用いた発震機構解析を行った。発震機構、 M_w とも、他機関の解析結果とほぼ同様であり、 M_w は 6.1 であった。なお、W-phase の解析で求めた震源は北緯 35.7° 、東経 102.8° 、深さ 12km となった。

W-phase の解析では、震央距離 $10^\circ \sim 90^\circ$ までの 30 観測点の上下成分、12 観測点の水平成分を用い、100~300 秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。

M_w	M_0	断層面解 1 (走向／傾斜／すべり角)	断層面解 2 (走向／傾斜／すべり角)
6.1	$1.94 \times 10^{18} \text{Nm}$	$155.6^\circ / 22.8^\circ / 116.7^\circ$	$307.0^\circ / 69.8^\circ / 79.3^\circ$



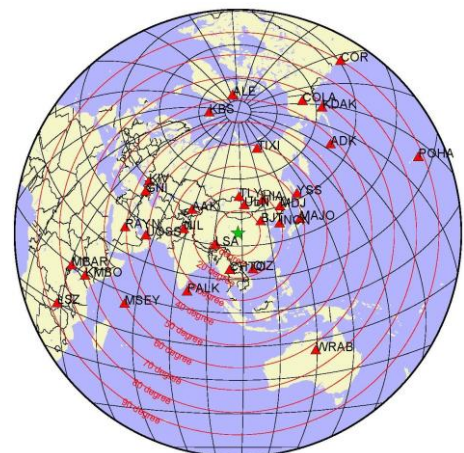
※解析に用いたデータの範囲は 15 秒×震央距離（度）としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

解析データには、米国大学間地震学研究連合（IRIS）のデータ管理センター（DMC）より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士及び Rivera 博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置

気象庁作成